

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公表番号】特表2010-508821(P2010-508821A)

【公表日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2009-535470(P2009-535470)

【国際特許分類】

A 2 3 L	1/22	(2006.01)
A 2 3 L	2/52	(2006.01)
A 2 3 L	2/00	(2006.01)
A 2 3 L	1/30	(2006.01)
A 2 3 F	3/16	(2006.01)
A 2 3 F	5/24	(2006.01)
A 2 3 L	2/02	(2006.01)
A 6 1 K	8/49	(2006.01)
A 6 1 K	8/97	(2006.01)
A 6 1 K	8/44	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 K	47/46	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 2 4 B	15/30	(2006.01)

【 F I 】

A 2 3 L	1/22	E
A 2 3 L	2/00	F
A 2 3 L	2/00	T
A 2 3 L	1/30	B
A 2 3 F	3/16	
A 2 3 F	5/24	
A 2 3 L	2/02	A
A 2 3 L	2/02	E
A 2 3 L	1/30	Z
A 6 1 K	8/49	
A 6 1 K	8/97	
A 6 1 K	8/44	
A 6 1 K	47/22	
A 6 1 K	47/46	
A 6 1 K	47/18	
A 2 4 B	15/30	

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月27日(2010.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの機能性成分と、レバウディオシドA組成物とポリオールを含む機能性甘味料組成物であって、

前記レバウディオシドA組成物が、レバウディオシドAと他のステピオールグリコシド類を含み、

前記レバウディオシドA組成物が、乾燥ベースで約50～約99.5重量%レバウディオシドAの純度のレバウディオシドAを含み、

前記レバウディオシドAが、無水物レバウディオシドA多形、レバウディオシドA溶媒和物多形、非晶質レバウディオシドA又はこれらの組合せの形で含み、さらに、

前記レバウディオシドA組成物とポリオールが、前記機能性甘味料組成物中に約1:50～約1:800の範囲の重量比率で存在し、

前記少なくとも1つの機能性成分が、少なくとも1つのフィトエストロゲンを含む、機能性甘味料組成物。

【請求項2】

前記レバウディオシドA組成物が、乾燥ベースで約80～約99.5重量%レバウディオシドAの純度を有する、請求項1に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項3】

前記レバウディオシドA組成物が、乾燥ベースで約95～約99.5重量%レバウディオシドAの純度を有する、請求項1に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項4】

前記レバウディオシドA組成物が、乾燥ベースで約99重量%レバウディオシドAより高い純度を有する、請求項1に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項5】

前記レバウディオシドA組成物が、さらに、乾燥ベースで約1～約5重量%の量のレバウディオシドB、乾燥ベースで約1～約5重量%の量のレバウディオシドC、乾燥ベースで約0.1～約4重量%の量のレバウディオシドE、乾燥ベースで約0.1～約4重量%の量のレバウディオシドF、乾燥ベースで約0.1～約4重量%の量のズルコシドA、乾燥ベースで約0.1～約4重量%の量のズルコシドB、乾燥ベースで約0.5～約5重量%の量のステピオシド及び乾燥ベースで約0.1～約4重量%の量のステピオールピオシドを含む、請求項1に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項6】

前記レバウディオシドA組成物が、さらに、乾燥ベースで約2～約5重量%の量のレバウディオシドB、乾燥ベースで約3～約5重量%の量のレバウディオシドC、乾燥ベースで約0.1～約2重量%の量のレバウディオシドE、乾燥ベースで約0.1～約2重量%の量のレバウディオシドF、乾燥ベースで約0.1～約2重量%の量のズルコシドA、乾燥ベースで約0.1～約2重量%の量のズルコシドB、乾燥ベースで約1～約5重量%の量のステピオシド及び乾燥ベースで約0.1～約2重量%の量のステピオールピオシドを含む、請求項1に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項7】

前記レバウディオシドA組成物が、さらに、乾燥ベースで約2～約3重量%の量のレバウディオシドB、乾燥ベースで約4～約5重量%の量のレバウディオシドC、乾燥ベースで約0.5～約1重量%の量のレバウディオシドE、乾燥ベースで約0.5～約1重量%の量のレバウディオシドF、乾燥ベースで約0.5～約1重量%の量のズルコシドA、乾燥ベースで約0.5～約1重量%の量のズルコシドB、乾燥ベースで約1～約4重量%の量のステピオシド及び乾燥ベースで約0.5～約1重量%の量のステピオールピオシドを含む、請求項1に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項8】

前記レバウディオシドA組成物が、HPLCで測定されるステピオールピオシドを実質的に含まない、請求項1に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項9】

前記レバウディオシドA組成物が、30%/5分より大きい溶解速度を有する、請求項

1 に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項 1 0】

前記レバウディオシド A 組成物とポリオールが、前記機能性甘味料組成物中に約 1 : 75 ~ 約 1 : 150 の範囲の重量比率で存在する、請求項 1 に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項 1 1】

前記ポリオールが、エリスリトール、マルチトール、マンニトール、ソルビトール、ラクチトール、キシリトール、イノシトール、イソマルト、プロピレングリコール、グリセロール、及びこれらの組合せからなるから群から選択される、請求項 1 に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項 1 2】

炭水化物類、アミノ酸類及びその対応する塩、ポリアミノ酸類及びその対応する塩、糖酸類及びその対応する塩、有機酸類、無機酸類、有機塩類、無機塩類、苦味化合物類、香味料類、渋味化合物類、ポリマー類、タンパク質類、タンパク質加水分解物類、界面活性剤類、乳化剤類、フラボノイド類、アルコール類、合成甘味料及びこれらの組合せからなる群から選択される少なくとも 1 つの甘味改善組成物をさらに含む、請求項 1 に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項 1 3】

甘味付与可能な組成物と、少なくとも 1 つの機能性成分、レバウディオシド A 組成物及びポリオールを含む機能性甘味料組成物とを含む機能性甘味料入り組成物であって、

前記レバウディオシド A 組成物が、レバウディオシド A と他のステビオールグリコシド類を含み、

前記レバウディオシド A 組成物が、乾燥ベースで約 50 ~ 約 99.5 重量% レバウディオシド A の純度を有し、

前記レバウディオシド A が、無水物レバウディオシド A 多形、レバウディオシド A 溶媒和物多形、非晶質レバウディオシド A 又はこれらの組合せを含み、

前記レバウディオシド A 組成物とポリオールが、前記機能性甘味料組成物中に約 1 : 50 ~ 約 1 : 800 の範囲の重量比率で存在し、

前記少なくとも 1 つの機能性成分が、少なくとも 1 つのフィトエストロゲンを含む、機能性甘味料入り組成物。

【請求項 1 4】

前記レバウディオシド A 組成物が、乾燥ベースで約 80 ~ 約 99.5 重量% レバウディオシド A の純度を有する、請求項 1 3 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 1 5】

前記レバウディオシド A 組成物が、乾燥ベースで約 95 ~ 約 99.5 重量% レバウディオシド A の純度を有する、請求項 1 3 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 1 6】

前記レバウディオシド A 組成物が、乾燥ベースで約 99 重量% レバウディオシド A より高い純度を有する、請求項 1 3 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 1 7】

前記レバウディオシド A 組成物が、前記機能性甘味料入り組成物中に約 100 ~ 約 3,000 ppm の量で存在する、請求項 1 3 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 1 8】

前記ポリオールが、前記機能性甘味料入り組成物中に約 5,000 ~ 約 35,000 ppm の量で存在する、請求項 1 3 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 1 9】

前記レバウディオシド A 組成物が、さらに、乾燥ベースで約 1 ~ 約 5 重量% の量のレバウディオシド B、乾燥ベースで約 1 ~ 約 5 重量% の量のレバウディオシド C、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 4 重量% の量のレバウディオシド E、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 4 重量% の量のレバウディオシド F、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 4 重量% の量のズルコシド A、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 4 重量% の量のズルコシド B、乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 5 重量

%の量のステビオシド及び乾燥ベースで約0.1～約4重量%の量のステビオールピオシドを含む、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項20】

前記レバウディオシドA組成物が、さらに、乾燥ベースで約2～約5重量%の量のレバウディオシドB、乾燥ベースで約3～約5重量%の量のレバウディオシドC、乾燥ベースで約0.1～約2重量%の量のレバウディオシドE、乾燥ベースで約0.1～約2重量%の量のレバウディオシドF、乾燥ベースで約0.1～約2重量%の量のズルコシドA、乾燥ベースで約0.1～約2重量%の量のズルコシドB、乾燥ベースで約1～約5重量%の量のステビオシド及び乾燥ベースで約0.1～約2重量%の量のステビオールピオシドを含む、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項21】

前記レバウディオシドA組成物が、さらに、乾燥ベースで約2～約3重量%の量のレバウディオシドB、乾燥ベースで約4～約5重量%の量のレバウディオシドC、乾燥ベースで約0.5～約1重量%の量のレバウディオシドE、乾燥ベースで約0.5～約1重量%の量のレバウディオシドF、乾燥ベースで約0.5～約1重量%の量のズルコシドA、乾燥ベースで約0.5～約1重量%の量のズルコシドB、乾燥ベースで約1～約4重量%の量のステビオシド及び乾燥ベースで約0.5～約1重量%の量のステビオールピオシドを含む、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項22】

前記レバウディオシドA組成物が、HPLCで測定されるステビオールピオシドを実質的に含まない、請求項13に記載の甘味料入り機能性甘味料組成物。

【請求項23】

前記レバウディオシドA組成物が、30%/5分より大きい溶解速度を有する、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項24】

前記レバウディオシドA組成物とポリオールが、前記機能性甘味料入り組成物中に約1:75～約1:150の範囲の重量比率で存在する、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項25】

前記ポリオールが、エリスリトール、マルチトール、マンニトール、ソルビトール、ラクチトール、キシリトール、イノシトール、イソマルト、プロピレングリコール、グリセロール、及びこれらの組合せからなる群から選択される、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項26】

炭水化物類、アミノ酸類及びその対応する塩、ポリアミノ酸類及びその対応する塩、糖酸類及びその対応する塩、有機酸類、無機酸類、有機塩類、無機塩類、苦味化合物類、香味料類、渋味化合物類、ポリマー類、タンパク質類、タンパク質加水分解物類、界面活性剤類、乳化剤類、フラボノイド類、アルコール類、合成甘味料及びこれらの組合せからなる群から選択される少なくとも1つの甘味改善組成物をさらに含む、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項27】

少なくとも1つの有機酸、少なくとも1つの無機酸、少なくとも1つの有機塩及び少なくとも1つの無機酸塩からなる群から選択される1つ以上の甘味改善組成物をさらに含む、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項28】

少なくとも1つの有機酸又は少なくとも1つの有機塩又はこれらの組み合わせをさらに含む、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物であって、

前記少なくとも1つの有機酸が、乳酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、アスコルビン酸及びこれらの組合せからなる群からから選択され、

前記少なくとも1つの有機塩が、塩化コリン、グルコン酸ナトリウム、グルコン酸カリ

ウム、グアニジン塩酸塩、アミロライド塩酸塩、グルコサミン塩酸塩、グルタミン酸1ナトリウム、アデノシン1リン酸、グルコン酸マグネシウム、酒石酸カリウム、酒石酸ナトリウム、クエン酸ナトリウム、クエン酸カリウム、乳酸ナトリウム、乳酸カリウム、リンゴ酸ナトリウム、リンゴ酸カリウム及びこれらの組合せからなる群から選択される、機能性甘味料入り組成物。

【請求項29】

少なくとも1つの無機酸又は少なくとも1つの無機酸塩又はこれらの組み合わせをさらに含み、前記少なくとも1つの無機塩が、カリウム塩、ナトリウム塩、カルシウム塩、マグネシウム塩及びこれらの組合せからなる群からから選択される、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項30】

少なくとも1つの有機酸又は少なくとも1つの有機塩、少なくとも1つの無機酸塩、及び少なくとも1つの無機酸をさらに含む、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物であって、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの有機酸又は少なくとも1つの有機塩の総量が、機能性甘味料入り組成物の約10～約5,000ppmの量であって、前記少なくとも1つの有機酸が、乳酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、アスコルビン酸及びこれらの組合せからなる群から選択され、前記少なくとも1つの有機塩が塩化コリン、グルコン酸ナトリウム、グルコン酸カリウム、グアニジン塩酸塩、アミロライド塩酸塩、グルコサミン塩酸塩、グルタミン酸1ナトリウム、アデノシン1リン酸、グルコン酸マグネシウム、酒石酸カリウム、酒石酸ナトリウム、クエン酸ナトリウム、クエン酸カリウム、乳酸ナトリウム、乳酸カリウム、リンゴ酸ナトリウム、リンゴ酸カリウム及びこれらの組合せから選択され、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの無機酸塩の総量が、機能性甘味料入り組成物の約25～約5,000ppmの量であって、前記少なくとも1つの無機酸塩が、カリウム塩、ナトリウム塩、カルシウム塩及びマグネシウム塩からなる群からから選択され、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの無機酸の総量が、機能性甘味料入り組成物の約25～約5,000ppmの量である、
機能性甘味料入り組成物。

【請求項31】

少なくとも1つの有機酸、少なくとも1つの無機酸、少なくとも1つの有機塩、及び少なくとも1つの無機酸塩をさらに含む、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物であって、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの有機酸の総量が、機能性甘味料入り組成物の約10～約5,000ppmの量であり、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの有機塩の総量が、機能性甘味料入り組成物の約20～約10,000ppmの量であり、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの無機酸の総量が、機能性甘味料入り組成物の約25～約5,000ppmの量であり、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの無機酸塩の総量が、機能性甘味料入り組成物の約25～約5,000ppmの量である、

機能性甘味料入り組成物。

【請求項32】

少なくとも1つのアミノ酸をさらに含む、請求項13に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項33】

前記少なくとも1つのアミノ酸が、アラニン、アルギニン、アスパラギン、システイン、グリシン、グルタミン、ヒドロキシプロリン、イソロイシン、ロイシン、リジン、プロリン、セリン、トレオニン、デアニン、チロシン、バリン及びこれらの組合せからなる群

から選択される、請求項 3 2 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 3 4】

前記少なくとも 1 つのアミノ酸が、前記機能性甘味料入り組成物の約 1, 0 0 0 ~ 約 1 0, 0 0 0 p p m の総量で前記機能性甘味料入り組成物中に存在する、請求項 3 2 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 3 5】

前記機能性甘味料入り組成物中に前記機能性甘味料入り組成物の約 1, 0 0 0 ~ 約 8 0, 0 0 0 p p m の量で存在する少なくとも 1 つの炭水化物をさらに含む、請求項 1 3 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 3 6】

前記機能性甘味料入り組成物中に前記機能性甘味料入り組成物の約 3 0 ~ 約 2, 0 0 0 p p m の量で存在する少なくとも 1 つのポリマーをさらに含む、請求項 1 3 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 3 7】

前記機能性甘味料入り組成物中に前記機能性甘味料入り組成物の約 1 ~ 約 5, 0 0 0 p p m の量で存在する少なくとも 1 つの界面活性剤をさらに含む、請求項 1 3 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 3 8】

前記機能性甘味料入り組成物中に前記機能性甘味料入り組成物の約 3 0 ~ 約 2, 0 0 0 p p m の量で存在する少なくとも 1 つのポリアミノ酸をさらに含む、請求項 1 3 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 3 9】

前記機能性甘味料入り組成物中に前記機能性甘味料入り組成物の約 0. 1 ~ 約 1, 0 0 0 p p m の量で存在する少なくとも 1 つのフラボノイドをさらに含む、請求項 1 3 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 4 0】

少なくとも 1 つの甘味付与可能な組成物と機能性甘味料組成物を含む機能性甘味料入り組成物であって、前記機能性甘味料組成物は、実質的に、少なくとも 1 つの機能性成分、レバウディオシド A 組成物、ポリオール及び 1 つ以上の甘味改善組成物からなり、前記甘味改善組成物は少なくとも 1 つの有機酸、少なくとも 1 つの有機塩、少なくとも 1 つの無機酸及び少なくとも 1 つの無機酸塩からなる群から選択され、

前記レバウディオシド A 組成物が、乾燥ベースで 8 0 重量%レバウディオシド A より高い純度を有し、

前記ポリオールが、前記機能性甘味料入り組成物中に、前記機能性甘味料入り組成物の約 5, 0 0 0 ~ 約 3 5, 0 0 0 p p m の量で存在し、

前記レバウディオシド A とポリオールが約 1 : 5 0 ~ 約 1 : 3 0 0 の範囲の重量比率で機能性甘味料入り組成物中に存在し、

前記少なくとも 1 つの有機酸が、前記機能性甘味料入り組成物中に、前記機能性甘味料入り組成物の約 1 0 ~ 約 5, 0 0 0 p p m の量で存在し、

前記少なくとも 1 つの有機塩が、前記機能性甘味料入り組成物中に、前記機能性甘味料入り組成物の約 2 0 ~ 約 1 0, 0 0 0 p p m の量で存在し、

前記少なくとも 1 つの無機酸が、前記機能性甘味料入り組成物中に、前記機能性甘味料入り組成物の約 2 5 ~ 約 5, 0 0 0 p p m の量で存在し、

前記少なくとも 1 つの無機酸塩が、前記機能性甘味料入り組成物中に、前記機能性甘味料入り組成物の約 2 5 ~ 約 5, 0 0 0 p p m の量で存在し、

前記少なくとも 1 つの機能性成分が、少なくとも 1 つのフィトエストロゲンを含む、機能性甘味料入り組成物。

【請求項 4 1】

非炭酸飲料、炭酸飲料、コーラ、ルートビア、果実風味飲料、柑橘風紀飲料、果汁、果実含有飲料、野菜ジュース、野菜含有飲料、茶、コーヒー、乳飲料、スポーツドリンク、

栄養飲料及びフレーバー水からなる群から選択される、請求項40に記載の機能性甘味料入り組成物を含む飲料。

【請求項42】

前記1つ以上の甘味改善組成物が、前記機能性甘味料組成物が前記機能性甘味料組成物の水溶液に約2.3~約3.5のpHを与えるのに有効な量で存在する、請求項41に記載の飲料。

【請求項43】

前記1つ以上の甘味改善組成物が、前記機能性甘味料組成物中に、前記機能性甘味料組成物が、前記レバウディオシドA組成物が前記機能性甘味料組成物の水溶液中に10重量%のショ糖水溶液に相当する最大甘味強度を与えるのに十分な量で存在するときに該水溶液に10ミリオスモル/L~500ミリオスモル/Lの浸透圧を与えるのに有効な量で存在する、請求項41に記載の飲料。

【請求項44】

少なくとも1つの甘味付与可能な組成物と機能性甘味料組成物を含む機能性甘味料入り組成物であって、前記機能性甘味料組成物は、少なくとも1つの機能性成分、レバウディオシドA組成物及び1つ以上の甘味改善組成物を含み、前記甘味改善組成物は炭水化物、アミノ酸、およびこれらの組合せからなる群から選択され、

前記レバウディオシドA組成物が、レバウディオシドAと1つ以上の他のステピオールグリコシド類を含み、

前記レバウディオシドA組成物が、乾燥ベースで約50~約99.5重量%レバウディオシドAの純度を有し、

前記レバウディオシドAが、無水物レバウディオシドA多形、レバウディオシドA溶媒和物多形、非晶質レバウディオシドA又はこれらの組合せを含み、さらに、

前記炭水化物が前記機能性甘味料組成物中に約1,000~約80,000ppmの量で存在する、及び/又は、前記アミノ酸が前記機能性甘味料組成物中に約100~約25,000ppmの量で存在し、

前記少なくとも1つの機能性成分が、少なくとも1つのフィトエストロゲンを含む、機能性甘味料入り組成物。

【請求項45】

前記レバウディオシドA組成物が、乾燥ベースで約80~約99.5重量%レバウディオシドAの純度を有する、請求項44に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項46】

前記レバウディオシドA組成物が、乾燥ベースで約95~約99.5重量%レバウディオシドAの純度を有する、請求項44に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項47】

前記レバウディオシドA組成物が、乾燥ベースで約99重量%レバウディオシドAより高い純度を有する、請求項44に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項48】

前記レバウディオシドA組成物が、さらに、乾燥ベースで約1~約5重量%の量のレバウディオシドB、乾燥ベースで約1~約5重量%の量のレバウディオシドC、乾燥ベースで約0.1~約4重量%の量のレバウディオシドE、乾燥ベースで約0.1~約4重量%の量のレバウディオシドF、乾燥ベースで約0.1~約4重量%の量のズルコシドA、乾燥ベースで約0.1~約4重量%の量のズルコシドB、乾燥ベースで約0.5~約5重量%の量のステピオシド及び乾燥ベースで約0.1~約4重量%の量のステピオールピオシドを含む、請求項44に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項49】

前記レバウディオシドA組成物が、さらに、乾燥ベースで約2~約5重量%の量のレバウディオシドB、乾燥ベースで約3~約5重量%の量のレバウディオシドC、乾燥ベースで約0.1~約2重量%の量のレバウディオシドE、乾燥ベースで約0.1~約2重量%の量のレバウディオシドF、乾燥ベースで約0.1~約2重量%の量のズルコシドA、乾

燥ベースで約 0.1 ~ 約 2 重量 % の量のズルコシド B、乾燥ベースで約 1 ~ 約 5 重量 % の量のステビオシド及び乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 2 重量 % の量のステビオールピオシドを含む、請求項 4 4 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 5 0】

前記レバウディオシド A 組成物が、さらに、乾燥ベースで約 2 ~ 約 3 重量 % の量のレバウディオシド B、乾燥ベースで約 4 ~ 約 5 重量 % の量のレバウディオシド C、乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 1 重量 % の量のレバウディオシド E、乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 1 重量 % の量のレバウディオシド F、乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 1 重量 % の量のズルコシド A、乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 1 重量 % の量のズルコシド B、乾燥ベースで約 1 ~ 約 4 重量 % の量のステビオシド及び乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 1 重量 % の量のステビオールピオシドを含む、請求項 4 4 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 5 1】

前記レバウディオシド A 組成物が、HPLC で測定されるステビオールピオシドを実質的に含まない、請求項 4 4 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 5 2】

前記レバウディオシド A 組成物が、30 % / 5 分より大きい溶解速度を有する、請求項 4 4 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 5 3】

前記レバウディオシド A 組成物が、前記機能性甘味料入り組成物中に約 100 ~ 約 3,000 ppm の量で存在する、請求項 4 4 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 5 4】

炭水化物類、アミノ酸類及びその対応する塩、ポリアミノ酸類及びその対応する塩、糖酸類及びその対応する塩、有機酸類、無機酸類、有機塩類、無機塩類、苦味化合物類、香味料類、渋味化合物類、ポリマー類、タンパク質類、タンパク質加水分解物類、界面活性剤類、乳化剤類、フラボノイド類、アルコール類、合成甘味料及びこれらの組合せからなる群から選択される少なくとも 1 つの甘味改善組成物をさらに含む、請求項 4 4 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 5 5】

少なくとも 1 つの有機酸、少なくとも 1 つの無機酸、少なくとも 1 つの有機塩及び少なくとも 1 つの無機酸塩からなる群から選択される 1 つ以上の甘味改善組成物をさらに含む、請求項 4 4 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 5 6】

少なくとも 1 つの有機酸又は少なくとも 1 つの有機塩又はこれらの組合せをさらに含む、請求項 4 4 に記載の機能性甘味料入り組成物であって、

前記少なくとも 1 つの有機酸が、乳酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、アスコルビン酸及びこれらの組合せからなる群から選択され、

前記少なくとも 1 つの有機塩が塩化コリン、グルコン酸ナトリウム、グルコン酸カリウム、グアニジン塩酸塩、アミロライド塩酸塩、グルコサミン塩酸塩、グルタミン酸 1 ナトリウム、アデノシン 1 リン酸、グルコン酸マグネシウム、酒石酸カリウム、酒石酸ナトリウム、クエン酸ナトリウム、クエン酸カリウム、乳酸ナトリウム、乳酸カリウム、リンゴ酸ナトリウム、リンゴ酸カリウム及びこれらの組合せから選択される、

機能性甘味料入り組成物。

【請求項 5 7】

少なくとも 1 つの無機酸又は少なくとも 1 つの無機酸塩又はこれらの組合せをさらに含む、前記少なくとも 1 つの無機塩がカリウム塩、ナトリウム塩、カルシウム塩、マグネシウム塩及びこれらの組合せからなる群から選択される、請求項 4 4 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 5 8】

少なくとも 1 つの有機酸又は少なくとも 1 つの有機塩、少なくとも 1 つの無機酸塩、及び少なくとも 1 つの無機酸をさらに含む、請求項 4 4 に記載の機能性甘味料入り組成物で

あって、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの有機酸又は少なくとも1つの有機塩の総量が、機能性甘味料入り組成物の約10～約5,000ppmの量であって、前記少なくとも1つの有機酸が、乳酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、アスコルビン酸及びこれらの組合せからなる群から選択され、前記少なくとも1つの有機塩が塩化コリン、グルコン酸ナトリウム、グルコン酸カリウム、グアニジン塩酸塩、アミロライド塩酸塩、グルコサミン塩酸塩、グルタミン酸1ナトリウム、アデノシン1リン酸塩、グルコン酸マグネシウム、酒石酸カリウム、酒石酸ナトリウム、クエン酸ナトリウム、クエン酸カリウム、乳酸ナトリウム、乳酸カリウム、リンゴ酸ナトリウム、リンゴ酸カリウム及びこれらの組合せから選択され、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの無機酸塩の総量が、機能性甘味料入り組成物の約25～約5,000ppmの量であって、前記少なくとも1つの無機酸塩が、カリウム塩、ナトリウム塩、カルシウム塩及びマグネシウム塩からなる群から選択され、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの無機酸の総量が、機能性甘味料入り組成物の約25～約5,000ppmの量である、

機能性甘味料入り組成物。

【請求項59】

少なくとも1つの有機酸、少なくとも1つの無機酸、少なくとも1つの有機塩、及び少なくとも1つの無機酸をさらに含む、請求項44に記載の機能性甘味料入り組成物であって、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの有機酸の総量が、機能性甘味料入り組成物の約10～約5,000ppmの量であり、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの有機塩の総量が、機能性甘味料入り組成物の約20～約10,000ppmの量であり、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの無機酸の総量が、機能性甘味料入り組成物の約25～約5,000ppmの量であり、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも1つの無機酸塩の総量が、機能性甘味料入り組成物の約25～約5,000ppmの量である、

機能性甘味料入り組成物。

【請求項60】

前記少なくとも1つのアミノ酸が、アラニン、アルギニン、アスパラギン、システイン、グリシン、グルタミン、ヒドロキシプロリン、イソロイシン、ロイシン、リジン、プロリン、セリン、トレオニン、デアニン、チロシン、バリン及びこれらの組合せからなる群から選択される、請求項44に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項61】

少なくとも1つの甘味付与可能な組成物と機能性甘味料組成物を含む機能性甘味料入り組成物であって、前記機能性甘味料組成物は、機能性成分、レバウディオシドA組成物及び1つ以上の甘味改善組成物を含み、前記甘味改善組成物は少なくとも1つの有機酸、少なくとも1つの無機酸、少なくとも1つの有機塩、及び少なくとも1つの無機酸塩からなる群から選択され、

前記レバウディオシドA組成物が、レバウディオシドAと1つ以上の他のステビオールグリコシド類を含み、

前記レバウディオシドA組成物が、乾燥ベースで約50～約99.5重量%レバウディオシドAの純度を有し、

前記レバウディオシドAが、無水物レバウディオシドA多形、レバウディオシドA溶媒和物多形、非晶質レバウディオシドA又はこれらの組合せを含み、

前記少なくとも1つの機能性成分が、少なくとも1つのフィトエストロゲンを含む、機能性甘味料入り組成物。

【請求項62】

前記レバウディオシド A 組成物が、乾燥ベースで約 80 ~ 約 99.5 重量%レバウディオシド A の純度を有する、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 6 3】

前記レバウディオシド A 組成物が、乾燥ベースで約 95 ~ 約 99.5 重量%レバウディオシド A の純度を有する、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 6 4】

前記レバウディオシド A 組成物が、乾燥ベースで約 99 重量%レバウディオシド A より高い純度を有する、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 6 5】

前記レバウディオシド A 組成物が、さらに、乾燥ベースで約 1 ~ 約 5 重量%の量のレバウディオシド B、乾燥ベースで約 1 ~ 約 5 重量%の量のレバウディオシド C、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 4 重量%の量のレバウディオシド E、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 4 重量%の量のレバウディオシド F、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 4 重量%の量のズルコシド A、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 4 重量%の量のズルコシド B、乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 5 重量%の量のステビオシド及び乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 4 重量%の量のステビオールピオシドを含む、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 6 6】

前記レバウディオシド A 組成物が、さらに、乾燥ベースで約 2 ~ 約 5 重量%の量のレバウディオシド B、乾燥ベースで約 3 ~ 約 5 重量%の量のレバウディオシド C、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 2 重量%の量のレバウディオシド E、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 2 重量%の量のレバウディオシド F、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 2 重量%の量のズルコシド A、乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 2 重量%の量のズルコシド B、乾燥ベースで約 1 ~ 約 5 重量%の量のステビオシド及び乾燥ベースで約 0.1 ~ 約 2 重量%の量のステビオールピオシドを含む、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 6 7】

前記レバウディオシド A 組成物が、さらに、乾燥ベースで約 2 ~ 約 3 重量%の量のレバウディオシド B、乾燥ベースで約 4 ~ 約 5 重量%の量のレバウディオシド C、乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 1 重量%の量のレバウディオシド E、乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 1 重量%の量のレバウディオシド F、乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 1 重量%の量のズルコシド A、乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 1 重量%の量のズルコシド B、乾燥ベースで約 1 ~ 約 4 重量%の量のステビオシド及び乾燥ベースで約 0.5 ~ 約 1 重量%の量のステビオールピオシドを含む、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 6 8】

前記レバウディオシド A 組成物が、HPLC で測定されるステビオールピオシドを実質的に含まない、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 6 9】

前記レバウディオシド A 組成物が、30% / 5 分より大きい溶解速度を有する、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 7 0】

前記レバウディオシド A 組成物が、前記機能性甘味料入り組成物中に約 100 ~ 約 3,000 ppm の量で存在する、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 7 1】

炭水化物類、アミノ酸類及びその対応する塩、ポリアミノ酸類及びその対応する塩、糖酸類及びその対応する塩、有機酸類、無機酸類、有機塩類、無機塩類、苦味化合物類、香味料類、渋味化合物類、ポリマー類、タンパク質類、タンパク質加水分解物類、界面活性剤類、乳化剤類、フラボノイド類、アルコール類、合成甘味料及びこれらの組合せからなる群から選択される少なくとも 1 つの甘味改善組成物をさらに含む、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 7 2】

前記 1 つ以上の甘味改善組成物が、少なくとも 1 つの有機酸又は少なくとも 1 つの有機

塩又はこれらの組合せを含む、請求項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物であって、
前記少なくとも 1 つの有機酸が、乳酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、アスコルビン酸
及びこれらの組合せからなる群から選択され、
前記少なくとも 1 つの有機塩が塩化コリン、グルコン酸ナトリウム、グルコン酸カリウ
ム、グアニジン塩酸塩、アミロライド塩酸塩、グルコサミン塩酸塩、グルタミン酸 1 ナト
リウム、アデノシン 1 リン酸塩、グルコン酸マグネシウム、酒石酸カリウム、酒石酸ナト
リウム、クエン酸ナトリウム、クエン酸カリウム、乳酸ナトリウム、乳酸カリウム、リン
ゴ酸ナトリウム、リンゴ酸カリウム及びこれらの組合せから選択される、
機能性甘味料入り組成物。

【請求項 7 3】

前記 1 つ以上の甘味改善組成物が、少なくとも 1 つの無機酸又は少なくとも 1 つの無機
酸塩又はこれらの組合せを含み、前記少なくとも 1 つの無機塩がカリウム塩、ナトリウム
塩、カルシウム塩、マグネシウム塩及びこれらの組合せからなる群から選択される、請求
項 6 1 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 7 4】

前記 1 つ以上の甘味改善組成物が、少なくとも 1 つの有機酸又は少なくとも 1 つの有機
塩、少なくとも 1 つの無機酸塩、及び少なくとも 1 つの無機酸を含む、請求項 6 1 に記載
の機能性甘味料入り組成物であって、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも 1 つの有機酸又は少なくとも 1 つ
の有機塩の総量が、機能性甘味料入り組成物の約 10 ~ 約 5,000 ppm の量であって、
前記少なくとも 1 つの有機酸が、乳酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、アスコルビン酸
及びこれらの組合せからなる群から選択され、前記少なくとも 1 つの有機塩が塩化コリン
、グルコン酸ナトリウム、グルコン酸カリウム、グアニジン塩酸塩、アミロライド塩酸塩
、グルコサミン塩酸塩、グルタミン酸 1 ナトリウム、アデノシン 1 リン酸塩、グルコン酸
マグネシウム、酒石酸カリウム、酒石酸ナトリウム、クエン酸ナトリウム、クエン酸カリ
ウム、乳酸ナトリウム、乳酸カリウム、リンゴ酸ナトリウム、リンゴ酸カリウム及びこれ
らの組合せから選択され、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも 1 つの無機酸塩の総量が、機能性
甘味料入り組成物の約 25 ~ 約 5,000 ppm の量であって、前記少なくとも 1 つの無
機酸塩が、カリウム塩、ナトリウム塩、カルシウム塩及びマグネシウム塩からなる群から
から選択され、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも 1 つの無機酸の総量が、機能性甘
味料入り組成物の約 25 ~ 約 5,000 ppm の量である、
機能性甘味料入り組成物。

【請求項 7 5】

前記 1 つ以上の甘味改善組成物が、少なくとも 1 つの有機酸、少なくとも 1 つの無機酸
、少なくとも 1 つの有機塩、及び少なくとも 1 つの無機酸を含む、請求項 6 1 に記載の機
能性甘味料入り組成物であって、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも 1 つの有機酸の総量が、機能性甘
味料入り組成物の約 10 ~ 約 5,000 ppm の量であり、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも 1 つの有機塩の総量が、機能性甘
味料入り組成物の約 20 ~ 約 10,000 ppm の量であり、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも 1 つの無機酸の総量が、機能性甘
味料入り組成物の約 25 ~ 約 5,000 ppm の量であり、

前記機能性甘味料入り組成物中に存在する少なくとも 1 つの無機酸塩の総量が、機能性
甘味料入り組成物の約 25 ~ 約 5,000 ppm の量である、
機能性甘味料入り組成物。

【請求項 7 6】

前記少なくとも 1 つのフィトエストロゲンが、イソフラボン類、スチルベン、リグナン
、レゾルシル酸ラクトン、クメスタン、クメストロール、エコール、及びこれらの組合せ

からなる群から選択される、請求項 1 に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項 77】

前記少なくとも 1 つのフィトエストロゲンが、ゲニステイン、ダイゼイン、グリシテイン、ピオチャニン A、ホルモノネチン、マタイレジノール、セコイソラリシレジノール、エンテロラクトン、エンテロジオール、組織状植物タンパク質、及びこれらの組合せからなる群から選択される、請求項 1 に記載の機能性甘味料組成物。

【請求項 78】

前記少なくとも 1 つのフィトエストロゲンが、イソフラボン類、スチルベン、リグナン、レゾルシル酸ラクトン、クメスタン、クメストロール、エコール、及びこれらの組合せからなる群から選択される、請求項 13 に記載の機能性甘味料入り組成物。

【請求項 79】

前記少なくとも 1 つのフィトエストロゲンが、ゲニステイン、ダイゼイン、グリシテイン、ピオチャニン A、ホルモノネチン、マタイレジノール、セコイソラリシレジノール、エンテロラクトン、エンテロジオール、組織状植物タンパク質、及びこれらの組合せからなる群から選択される、請求項 13 に記載の機能性甘味料入り組成物。